

## 平成24年度第1回四街道市文化財審議会会議録

日 時 平成24年5月29日（火）午後3時00分～午後4時15分

場 所 四街道市役所第2庁舎 第2会議室

出席委員 小倉正一 会長 中野照男 副会長 松平喜美代 委員  
樋口誠太郎 委員 吉田文夫 委員 菊田好根 委員  
宮田省一 委員 大矢敏夫 委員

欠席委員 加倉井砂男 委員

事務局 木村俊幸教育長 實川佳延教育部長 久留戸邦彦課長  
川端弘士主幹 渋谷芳則副主幹 林田聡嗣主事

傍聴人 0人

### —— 会議次第 ——

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 教育長挨拶
4. 職員紹介
5. 議 事
  - (1) 平成23年度事業報告について
  - (2) 平成24年度事業計画について
  - (3) その他
6. 閉 会

#### (1) 平成23年度事業報告

渋谷副主幹：(平成23年度事業報告)

中野副会長：平成23年度事業報告について、委員の皆様方からご質問等はありませんか。

小倉会長：一つ申し上げます。市制30周年記念誌「四街道の歴史」が刊行されましたが本当にすばらしく、各委員の先生方が力を合わせた素晴らしい編集内容でした。また、約26年程前、相川先生執筆の「地区探訪」がありますが、あの本が懐かしく書庫から出してみたのですが、今回と合わせて素晴らしい市史研究PRの良い本だと思います。市民の皆様方に物井地区の縄文時代、山梨地区の弥生時代など紹介するのに非常に良いのではないかと思います。市史編さん・執筆委員の方々に心から感謝を申し上げたい。四街道の歴史展や講演会に私も参加したのですが、非常にたくさんのお客様が見え、よくまとめて展示されていて、非常に良かったと思います。大規模な物でなくても、八木原（歴史民俗資料室）のような形で、やはり常設の資料館が必要かと思えます。

大矢委員：私も近世古文書部門を担当させていただいて、開催中の連日12日間ガイドを担当しました。そして多くの方が常設展で見たい、四街道にこんなに良い物があるのにもったいないとの声がありました。しかしそのわりには、私の住んでいる地域を見てみると、実際に見に来る人が少なかったです。宣伝面で何かもうひと工夫必要だと思います。いずれにしても展示内容は評判良かったので、是非今後またこういう機会がいただけるようお願いいたします。

宮田委員：展示に関しては、鹿放ヶ丘ふれあいセンター「開拓資料室」に教育研究会のメンバーが見学しており、参加者がこんないい施設があるのかと感心して帰って行きました。他の人が来ても同じことをいいます。

## (2) 平成24年度事業計画

林田主事：(平成24年度事業計画報告)

中野副会長：この平成24年度事業計画につきまして何かご質問ございますか。なければ、私より質問させていただいてよろしいでしょうか。資料中において市指定文化財協力者謝礼は25か所となっているが、市指定文化財合計は28件となっているが、この3件の差をご説明願います。

渋谷副主幹：3件は四街道市が所有しており、八木原貝塚、南波佐間の寺屋敷遺跡出土板碑、亀崎橋台については謝礼を支払う必要がないためです。

中野副会長：市指定文化財の調査と選定ということで、前にも指定の話があり、桶作り職人の石橋氏、あと演習場関連は遠藤氏ですが、平成24年度ではどういうことをやりたいとお考えですか。

川端主幹：過去に検討していただいた経緯がありますが、5・6年の年月が経ちまして、現所有者のご家族がどのようなお考えをもっているか、再調査しまして、スムーズにいけば24年度中に諮問・答申というところまで持っていかれたらと思っております。桶作り職人の道具に関しては、ご遺族の方が市で無形文化財と保存技術保有者に指定していただいたということで大変よろこんでございまして、残された道具類は市のために取っておく、というようなことを当時言われていたと思っております。そして、先生方に検討をいただいたという経緯がございます。開拓関連の軍演習場弾丸拾いの道具は全国でも類例のない道具です。生前、遠藤先生は非常に大事にされており、歴史民俗博物館企画展に出展され、資料的価値は注目されていました。亡くなられてからも資料は残されていると思っております。誇れる資料ですので保存していきたいと考えております。

大矢委員：文化財の維持・管理のための予算、補助金というものはありますか。

川端主幹：過去に内黒田の庚申塔の像部が剥落し、所有者と検討し、修理をしたという例がございます。市としては補助金制度があり、県・国レベルでも補助金等がございます。また、補助金ではないですが、市では管理謝礼金を出しています。

久留戸課長：修復用の経常的な予算はまとまってございませんが、特に指定文化財については価値を損なうような状態であれば、予算を取り残していくのがいいかと思っております。

樋口委員：桶作り職人の道具に関して、刃物は保管しておけばいいということではなく、定期的な手入れが必要かと思っております。予算的なものはどうするのですか。

川端主幹：埋蔵文化財の例ですが、直刀など色々な鉄製品は錆びてボロボロの状態です。出土しますが、市の方で予算化し、保存処理をかけて保存できるようにしています。

中野副会長：錆びさせないというだけなら油を塗るなど方法があるのかと思っております。

樋口委員：開拓関連の軍演習場弾丸拾い道具は寄贈するといってから5年位経ちます。そろそろ文化財審議会を考えなくてはならないと思っております。

久留戸課長：協力の話を進めた上で、指定へ向けて準備ができればと思っております。

## (3) その他

渋谷副主幹：(平成23年度四街道市遺跡発掘調査報告書、普及版・八木原貝塚と縄文社会リーフレット、市制施行30周年記念事業説明)

明治大学の阿部教授には今回のリーフレット原稿も含め制作にご協力いただき、市制施行30周年記念事業の一環で千代田遺跡・八木原貝塚に係る講演会も行いました。

中野副会長：当日、満員で入場できなかった方が、資料を入手しただけで入場できなかった方にも資料をお配りしていただくと非常に良くなるのではないかと思います。そういった面でも事前の広報PRが必要かと思えます。

久留戸課長：広報につきましては、市の市政だより、もしくは教育広報もございますので、それで市民の皆様にご案内し、ホームページについても今までより充実を図っていきたいと思っております。

中野副会長：他にございませんか。それでは議事を事務局のほうにお返しいたします。

久留戸課長：これもちまして平成24年度第1回文化財審議会を閉会させていただきます。皆様ご苦労さまでした。